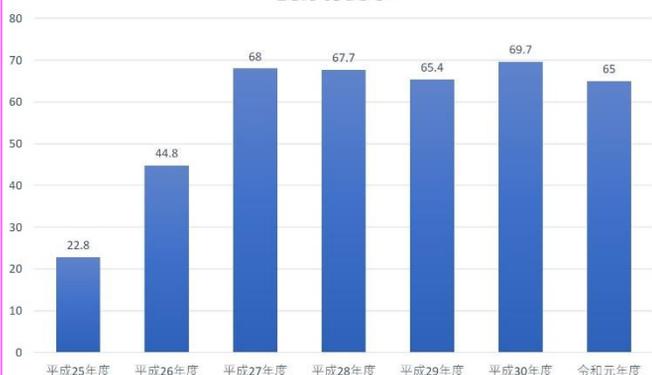


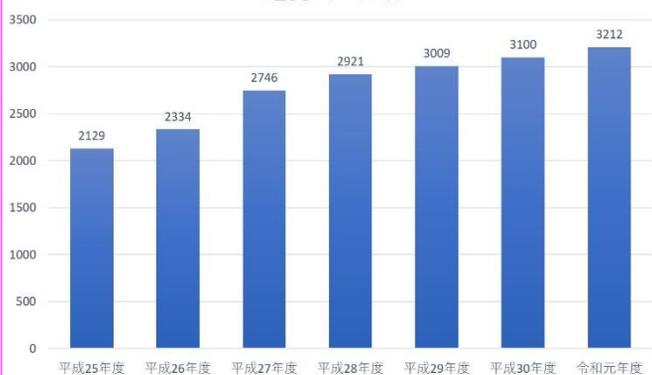
外来患者数



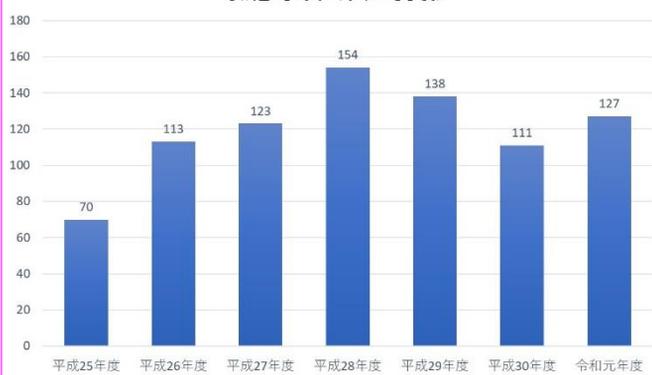
病床稼働率



透析延べ人数



救急車受け入れ件数



臨床指数による昨年度の振り返り

町立西和賀さわうち病院
院長 小原 眞

過去の臨床指数とともに令和元年度を振り返ってみたいと思います。

平成26年に北村道彦院長（現総括院長）を迎え、さらに旧病院からの新築移転に伴い、現在の「西和賀さわうち病院」として新しいスタートを切りました。初期の3年間で外来患者数・病床稼働率とも上昇に転じ、平成28年度からはほぼ横ばいの状態が続いています。令和元年度は若干の減少が見られたものの、過去4年間とほぼ同数を維持しています。町民の皆さんのご要望に応えるべく、ハード面だけでなくスタッフやシステムなどのレベルアップの結果が現れていると思います。病床稼働率などの数値にはまだ余力が残っていますので、これらをどれだけ伸ばせるかが今後の課題です。

当院には透析ベッドが8床あり、町内で維持透析が必要な患者さんの管理を行っており、また旅行透析等にも対応しています。透析延べ人数は右肩上がり増加しています。西和賀町では血液透析の導入率が高いうえに高齢化率も県内で唯一50%を超えており、今後ますます透析のニーズが増えることが予想されます。これに対応していく必要があり、設備やスタッフの育成等に力を注いでいかなくてはなりません。

救急車の受け入れ件数は例年100件を超えています。夜間の検査態勢の制約などもあり、全ての症例を受け入れることはできませんが、地域の病院としてより多くの症例に対応できるよう、今後も体制を整えていきます。

以上、臨床データを元に昨年度までを振り返ってみました。今年度は4月1日から地域包括ケア病床も稼働となり、新しい体制でのスタートを切っています。今後も地域に根ざした病院としての役割を果たすべく、スタッフ一同努力していく所存です。

新任医師の紹介

外科長 伊瀬谷 和輝

令和2年4月から、町立西和賀さわうち病院にお世話になっております。外科と内科の入院・外来を担当させていただいております。昨年度は岩手県立千厩病院の総合診療外科で勤務しておりました。専門は消化器外科です。さわうち病院に赴任して3か月がたちます。患者様・ご家族の健康意識の高さに驚かされながら、西和賀町の医療・福祉の連携など勉強させていただいております。まだまだ経験の浅い若輩者ではありますが、微力ながら努力精進するつもりです。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

伊瀬谷和輝外科長。外科と内科の入院・外来を担当しています。



鎌田麻美先生、小島香先生 ようこそさわうち病院へ

町立西和賀さわうち病院 総括院長 北村道彦

令和2年4月からは、岩手県奨学金医師養成事業の配置基本ルールに則って、岩手県立中部病院の鎌田先生と小島先生が、週1回の当直と外来応援の業務に就いています。お二人とも既に内科専門医を修得し、鎌田先生は神経内科、小島先生は循環器内科の専門医を目指しております。我々常勤医としては、当直の負担軽減とともに、神経内科、循環器内科の最新の情報が得られるという大きいメリットがあります。さらなる高みの専門医を目指しながら、地域病院への応援を熱心に行なっている若い二人へのエールを是非お願いします。



鎌田麻美先生は、毎週水曜日午前中の内科外来を担当しています。



小島香先生は、毎週木曜日午前中の内科外来を担当しています。

医師や新しいス
タッフを迎え、病棟
でも地域包括ケア病
床を開始、今年度は
とても忙しさを
タクトを任せました
が、気が付いたら
と、いろいろな
慣れずの間、2か
過ぎる間に、私
は、いまだに、私
悩んで、調べる、私
な発見・調べ、新
日々繰り返して、私
毎日です。え、の
の業務をこなす前
での業務を、初めに
どっちなく、よ心
療・福祉、よ、提
は、とき、た、携
は、念、頭、し、ら
を、み、な、が、業
ん、で、い、な、か、
思、う、今、日、こ
主 査 藤田 智恵

編集後記